



木曽三川流域エコネット応援団

「木曽三川流域エコネット応援団」は、木曽三川流域で活動される（または参加・協力・賛同される）地域の皆さんを、つなげるしくみです。希少な動植物の保護、重要な生息場の環境整備、調査・研究、自然環境保護に関する広報・啓発活動など、参加団体の皆さんによるさまざまな活動が、木曽三川流域の生態系ネットワークの形成を支えています。

木曽三川流域エコネット応援団 参加団体一覧（敬称略）

2021年3月現在

No.	分類	団体等名称	No.	分類	団体等名称
01	市民団体等 (50音順)	池田町上八幡ハリヨを守る会	34	学校・教育施設	岐阜協立大学
02		大垣市環境市民会議	35		岐阜大学 ESDクオリア
03		表佐ハリヨ・ホタル保存会	36		愛知県立一宮高校 生物部
04		尾張西部生態系ネットワーク協議会	37		愛知県立木曽川高等学校 総合実務部
05		尾張北部生態系ネットワーク協議会	38		愛知県立一宮商業高等学校 地域貢献部
06		加賀野名水保存会	39		岐阜県立大垣東高等学校 理数科ハリヨ班
07		一般社団法人 ClearWaterProject	40		岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物班
08		曾根町ハリヨ・ホタル保存会	41		一宮市立尾西第一中学校
09		東海タナコ研究会	42		一宮市立起小学校
10		トンボ池を守る会	43		羽島市立足近小学校
11		西之川ハリヨ保存会	44		羽島市立小鰐小学校
12		はりんこネットワーク	45		羽島市立正木小学校
13		ピオトープネットワーク中部	46		羽島市立中央小学校
14		ヒダサンショウウオ研究会	47		羽島市立福寿小学校
15		NPO法人 森と水辺の技術研究会	48		羽島市立竹鼻小学校
16	民間企業等 (50音順)	株式会社大垣共立銀行	49	行政機関	羽島市立堀津小学校
17		加藤建設株式会社	50		羽島市立中島小学校
18		株式会社川瀬組	51		羽島市立羽島中学校
19		株式会社国井組	52		羽島市立竹鼻中学校
20		近藤建設株式会社	53		羽島市立中央中学校
21		サンメッセ株式会社	54		羽島市立中島中学校
22		株式会社十六銀行	55		羽島市立桑原学園
23		生活協同組合コープあいち	56		池田町上八幡小学校
24		生活協同組合コープぎふ	57		神戸町立南平野小学校
25		中部電力株式会社	58		愛知県
26		中日本氷糖株式会社	59		岐阜県
27		尾西信用金庫	60		一宮市
28		株式会社フォーラムホテル	61		岐阜市
29		三井住友信託銀行株式会社一宮支店	62		大垣市
30		株式会社吉川組	63		羽島市
31	動物園・水族館 (50音順)	世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふ	64		瑞穂市
32		名古屋市東山動植物園	65		海津市
33		碧南海浜水族館	66		養老町
			67		輪之内町
			68		垂井町
			69		池田町
			70		神戸町教育委員会
			71		農林水産省東海農政局農村振興部農村環境課
			72		環境省中部地方環境事務所野生物課

「木曽三川流域エコネット応援団」では、事務局による地域の皆さんの活動への支援（定期的な情報発信等）のほか、交流会「エコネットカフェ」を開催するなどし、活動情報の共有や意見交換・技術交流を図り、地域の協働による取り組みのさらなる発展を目指しています。



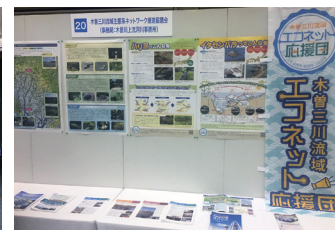
交流会エコネットカフェにおける意見交換



参加団体の皆さんによる取組発表



参加団体の皆さんとの現地学習会



地域行事への広報展示

木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会

〔事務局〕国土交通省 木曽川上流河川事務所・木曽川下流河川事務所
〔問合せ〕木曽川上流河川事務所 調査課 (058-251-1125)



エコロジカル・ネットワーク形成の推進による 木曽三川流域における自然も心も豊かになる地域づくり 「取り組みレポート 2020」



木曽三川流域生態系ネットワーク推進の取り組み ～これまでとこれから～

木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会は、川とともに育まれてきた流域の自然や文化を保全・活用し、地域の魅力を向上させるとともに、人と自然・人と人との絆を深めることを目的とし、流域の研究者・市民団体・自治体・河川管理者等によって、平成 26 年度に設立されました。

この取り組みでは木曽三川流域を大きく4つのエリア（「氾濫原」、「湧水帯」、「本川・支川」、「扇状地」）に区分し、エリアごとに自然と文化を活かした取り組みが推進されるよう、国や自治体、地域関係者が集まって協議を図っています。

氾濫原エリアではイタセンバラ、湧水帯エリアではハリヨ、本川・支川エリアではニホンウナギをシンボルとして取り組みを行っています。

このレポートでは、2020 年の節目の年にあたって、これまでの取り組みと今後の展望をとりまとめます。



■イタセンバラ等のすむ氾濫原の取り組み推進

- これまでの取り組み** イタセンバラの生息環境再生のため、木曽川のワンドでは、生息環境改善事業を実施しています。揖斐川のワンドでは、保全対策箇所の選定、対策方法の検討を行いました。犀川遊水地では、イタセンバラの生息環境創出の可能性を検討しました。下池地区では、環境調査や外来魚駆除・水質調査方法の検討を行い、下池ビオトープにおいて池干しや環境学習会を実施しています。
- 教育・啓発活動として**、密漁パトロール、勉強会、イタセンバラの水槽展示等の実施や、羽島市や一宮市、地元高校の活動支援を行いました。
- これからの取り組み** これまでの取り組みを継続するとともに、木曽川以外の地区でも取り組みを発展させることで、氾濫原ネットワークの向上を図ります。



イタセンバラの水槽展示



イタセンバラ勉強会

氾濫原
湧水帯
3つのテーマと
協働による取組推進
本川支川
協働推進

■ハリヨ等のすむ湧水帯の取り組み推進

- これまでの取り組み** 流域の自治体や学校、NPO 団体等では、湧水やハリヨ生息地の保全活動が行われ、シンポジウムが開催されるなどの活動が続けられています。
- 協議会では**、ハリヨ保全の取組を行う関係者への情報提供として、生息情報や保存会等の活動状況、文献や教材などについて、網羅的に情報収集・集約を図り、ホームページでの情報公開、会議等での情報共有を行いました。
- また**、ハリヨ生息地における外来種駆除のため「オオフサモ除去の手引き」を作成し、現地で説明を行うなど、課題に対する技術的な支援等を行いました。
- これからの取り組み** 地域が主体となる保全活動が持続され、湧水やハリヨ生息地の環境が維持されることを目指し、団体間の連携の支援を行います。



オオフサモ除去の手引き (H30 作成)



矢道ハリヨの池広場における放流会 (H29.10)

■ニホンウナギ等が行き来できる連続性改善の取り組み推進

- これまでの取り組み** 本川、支川、堤内地の連続性確保のため、ニホンウナギを指標とした生態系ネットワーク推進部会を設立 (H31) しました。
- 揖斐川本川・支川において**連続性を分断する横断工作物やウナギの生息実態に関する調査、ウナギに関する網羅的な情報収集や現地視察を行い、SNS による情報発信を行いました。
- また**、ウナギの生態を把握するため、パイロット事業として石倉カゴを用いたモニタリング調査を実施しています。
- これからの取り組み** 令和 2 年に開始したパイロット事業を継続するとともに、ニホンウナギ生態系ネットワーク計画書の策定、地域振興や環境教育に関する地域関係者との連携方策の推進を図ります。



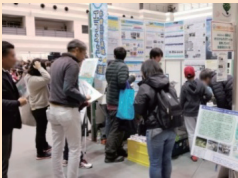
ニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会の開催 (H31.3)



石倉カゴの引き上げ (R2.10)

■地域協働による取り組み推進検討

- これまでの取り組み** 木曽三川流域の生態系ネットワークを、地域の協働によって推進するための仕組みとして、流域のさまざまな団体等が参加する「木曽三川流域エコネット応援団 (以下、エコネット応援団)」を結成 (H28) しました。
- これまでに**、団体に参加いただき、地域活動の連携・交流を図るため、情報共有 (ニュースレターや SNS を通じた開催行事の告知等) や広報活動 (保全対象種の魅力を伝える資料配布等)、また相互交流 (研究成果を発表したり、日ごろの課題に関する意見交換を行う交流会の開催等) を図ってきました。
- これからの取り組み** 各研究活動等の相互発展を目指し、多くの皆さんをつなげてきたこれまでの取り組みをしっかりと継続するとともに、そうした成果を、地域の活性化に活かしていくことについても検討します。



取り組み広報のためのイベント出展例



木曽三川流域エコネット応援団交流会「エコネットカフェ 2020」

地域関係者による取り組み ～それぞれの活動がエリア内のエコネット形成を推進しています～

広域的なエコロジカル・ネットワークの形成は、各拠点で実施される取り組みがつながって推進されていきます。木曽三川流域では、文教施設と学校が一体になった保護推進やサポーター制度設立による活動支援など、各市町・団体・研究者等の地域関係者によってさまざまな活動が進められています。

■文教施設と学校が一体になった保護推進

- 尾西歴史民俗資料館や周辺の一宮高校、木曽川高校や起小**学校など、野外活動や総合学習などの取り組みでイタセンバラ保護の学習や推進が図られています。
- (一宮市)**



簡易的な魚類採捕の体験



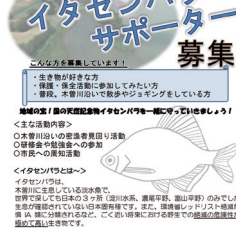
高校生によるイタセンバラかるたの作製

■サポーター制度設立による活動支援

- イタセンバラ保護のため**、平成 30 年度にイタセンバラサポーター制度を設立。より多くの人に知って頂き、地域の方とともに保護、保全活動の支援がスタートしました。
- (羽島市)**



イタセンバラ塾による環境学習



■コンクール受賞歴も多数ある高校生の研究

- エコネットに関わる高校生の研究も継続的で**高度となり、「中部の未来創造大賞」や「全国野生生物保護実績発表大会」など多数の受賞があり、ハイレベルな取り組みとなっています。
- (地域の中小高校)**



「中部の未来創造大賞」の奨励賞を受賞した木曽川高校



全国野生生物保護実績発表大会で環境大臣賞を受賞した岐阜高校

木曽三川流域生態系ネットワークの組織 ～広域連携による取り組みの推進～

協議会には、協働による推進手法検討会議、氾濫原、湧水地生態系ネットワーク推進部会がつくられ、氾濫原ではイタセンバラ、湧水地ではハリヨがシンボルとして取り組まれてきました。さらに、本川・支川の取り組みとしてニホンウナギ生態系ネットワーク推進部会がつくられ、エコロジカル・ネットワーク形成に関する情報の共有・発信、協働・連携促進を図っています。

- 組織: 木曽三川流域生態系ネットワーク推進協議会 (および部会、検討会)
- 設立: 平成26年度 (平成27年2月)
- 構成: (2021.3時点)
- 【学識者 (氏名50音順)】
 - 伊藤 健吾 岐阜大学応用生物科学部
 - 篠田 成郎 岐阜大学 工学部社会基盤工学科
 - 武田 稔 静岡大学 学長補佐室
 - 永山 滋也 岐阜大学流域圏科学研究センター
 - 福田 秀志 日本福祉大学
 - 森 誠一 岐阜協立大学 地域創生研究所
 - 安田 守 岐阜県立華陽フロンティア高等学校
 - 米倉 竜次 岐阜県水産研究所
 - 望岡 典隆 九州大学大学院農学研究院
- 【民間団体 (団体名50音順)】
 - 世界淡水魚園水族館 アクア・ト・ゴ
 - トンボ池を守る会
 - 中部電力株式会社
 - はりんごネットワーク
 - 東海タナゴ研究会
 - 生活協同組合コープぎふ
 - 一般社団法人 ClearWaterProject
 - NPO法人 森と水辺の技術研究会
 - ピオープ・ネットワーク中部
 - 三井住友信託銀行株式会社一宮支店
 - 津山市漁業協同組合

- 【行政機関】
 - 愛知県、●岐阜県、●一宮市、●岐阜市、●大垣市、●羽島市、●瑞穂市、●海津市、●養老町、●垂井町、●神戸町、●輪之内町、●池田町、●環境省中部地方環境事務所
 - 国交省中部地方整備局河川環境課
 - 国交省木曽川上流河川事務所
 - 国交省木曽川下流河川事務所

- オブザーバー: 農水省東海農政局、株式会社十六銀行



岐阜県ハリヨシンポジウム (H29.10)



トゲウオシンポジウム in 大垣 (H30.10)

■ミュージカルで自然・文化を統合した活動に

- 市民創作ミュージカルとして**希少生物「ハリヨ」と自然環境をテーマに自然環境保全の大切さを訴える文化活動が行われました。(海津市)



海津市市民創作ミュージカル



ミュージックフェスタ in KAIJU (R1.12)

■市民団体や企業による啓発活動支援

- ハリヨ保全地の学習ツアーによる啓発や**、店舗におけるポスターを掲示といった啓発等、市民団体や企業の CSR 活動による支援が行われています。
- (市民団体・民間企業等)**



市民団体によるハリヨ保全地の学習ツアー



銀行の店舗におけるハリヨポスターの掲示